

介護老人保健施設みみはら クリーン計画

すっきり心地の良い生活空間

耳原鳳クリニックの隣接地に開設して27年。たくさんの方々に入所やショートステイ、デイケアなどご利用いただいています。設備面で使用感が否めず、壁などの汚れが目立ってきていました。そこで今回、一念発起してすっきり心地の良い生活空間、リハビリ環境の提供を目的に、入所大部屋の間仕切り導入、整理整頓、清掃、壁の塗り替えなどに着手しました。

多くの皆さんの労いや喜びの声を頂きました。職員からは、「わいわいと楽しみながらもペンキ塗りの奥深さを感じた」、「入所者さんの励ましを力に頑張って良かった」などの感想がありました。年末に自宅の大掃除を後回しにした10人の職員が参

加して大掃除を行いました。風呂場、倉庫などにもこもり、洗剤とモップを片手に汗を流しました。

新たに美化委員会を立ち上げ、清掃や修繕だけでなく、中庭に花を植える計画なども話し合っています。引き続き介護に関する相談利用施設として、ご活用いただけますと幸いです。(相談員 松本 昌広)

ペンキ一筋60年の職人さんに5日間来ていただき、職責者中心に下準備や壁塗りをしました。綺麗になると他の汚れが気になり、職人さんのご厚意に甘えて毎回予定時間をオーバーしました。下手の手習いでペンキだらけになった職員を見守る入所者さんからは、「綺麗になつたなく、気持ちええわあ」、「ご苦労さん、嬉しいよ、これで良い正月が迎えられる」など



ペンキの下準備



3階療養棟



1階フロント前



デイケアルーム



療養棟の多床室間仕切り



年末大掃除隊

多様性委員会の取り組み

誰もが自分らしい在り方ができる組織を目指して

同仁会は2024年3月に人権を大切に、多様性を認め合える組織づくりを目的として、多様性委員会を立ちあげました。構成員は同仁会各事業所より担当者を選出し、月一回開催しています。2021年2月に同仁会「4つのステートメント案」発出を受け、「ジェンダー平等」「ハラスメント」「LGBTQ+」十一「反核・平和・地球環境」について人権を守る課題、組織や構成する人々の人権に対する感覚と組織としての在り方などの課題を発信・改善・提言していくことを考え

る委員会として設立しました。多様性とはマイノリティすべてについて考えていかなければならず、範囲が多岐にわたることでまずは、LGBTQ+を特化してすすめることを確認し進めています。各事業所の現状と課題を共有し、課題・法人的取り組みが必要とする課題の整理から始めています。2024年5月17日、LGBTQ+に対する認識が広まる中で、同性婚の対象者の制度の見直しを行いました。同性パートナーを法人内制度における配偶者として取り扱

うパートナーシップ制度を導入し、福利厚生等、同性パートナーが適用できるようファミリーシップ制度を提案・承認され就業規則の改定を行いました。委員会では継続的に学習することが必要と考え、毎回の委員会時にミニ学習会(15分)を進め、職員に向けて啓発する準備をしています。また、LGBTQ+についての臨床心理士によるカウンセリングを受ける窓口として、性の多様性を認める社会を目指すNPO法人QWRC(クオーク)と法人契約を結びました。25年5月には全職員対象の学習会を企画し進めています。(多様性委員会 菅原 栄二)

理事会報告

12月理事会(概要)

開催日時: 2024年 12月26日(木) 午後6時~8時10分
出席: 理事 25名
監事 3名

〈主な内容〉

◆報告
・ 拡大常任理事会、各種委員会概要

- ・ 健康友の会みみはら、社保・平和のとりくみ
- ・ 無料低額診療の各事業所実績
- ・ 2024年10月度および11月度決算概要
- ・ 経営改善に向けた集中討議の概要報告
- ・ みみはら2030年の樹の進捗について
- ・ 小児科医師体制の課題について

「研修医育成」に皆さまの「声」を

右のQRコードからアンケートへのご協力をお願いします。(耳原総合病院研修委員会)

